



季刊

覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話(096)383-4874
FAX(096)383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
<http://www.facebook.com/kakuhouji>

覚法寺初の試み 降誕会

節談説教を収録!

毎年五月は「宗祖降誕会」の法要月です。昨年は人気の講話を予定していましたがコロナ禍で中止となり、今年は落語・講話の元祖、古来のお説教である節談説教を予定してありました。しかしまたしても好転しないコロナ禍の状況で六月に延期となりましたが、結局熊本県のまん延防止等重点措置により通常形態での法要は諦めました。

しかし完全に諦めたわけではなく、そこで親鸞聖人の誕生日である



るまさに五月二十一日、「宗祖降誕会」を関係者と数名のご門徒さんと一緒に内勤めで行い、ご講師のご協力により、ご講話のビデオ撮影を致しました。これは覚法寺としては初めての試みです。なお撮影されたものは、YouTubeというどなたもご存じの人気サイトを利用して、「覚法寺チャンネル」から聴聞できるようにしました。YouTube内で「覚法寺」と検索されましたら簡単に見つけることができます。また写真に掲載のQRコードから簡単に聴聞できます。一席目の節談説教と二席目の通常の講話が収録されています。



ご本尊は本山から お迎えしましょう

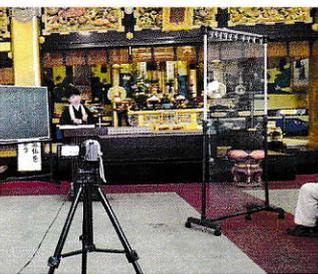
ご本尊について
のお問い合わせ

参拝部 ☎075(371)5181 まで
覚法寺 ☎096(383)4874 まで

YouTube内での評価欄やコメント欄は、できないようにしております。ご講話は講演会と異なり、拍手しないのがセオリーとなっておりますので、「いいね!」などの評価も不要です。またコメントもお念仏以外には不要とのこと、どうぞそれぞれにお念仏申されていただければと思います。

ご高齢の方々などインターネットは全くわからない方も沢山おられると存じますので、八月の二日間、お盆期間中にお寺の本堂にて上映会を致します。ご自由にご聴聞ください。

降誕会ご法話上映会日程
8月14日(土)・14時より節談説教のご法話40分、15時より通常のご法話30分
8月15日(日)・14時より節談説教のご法話40分、15時より通常のご法話30分



住職雑記

現在覚法寺の改築準備をしている中で、納骨堂や墓地について勉強させていただきました。熊本地震をきっかけに、かなり多くのお寺さんが納骨堂の改築や新築をされているようでした。そこで色々な墓苑や納骨堂なども調べてみました。▼墓苑に関しては、企業が入り込んで運営されているようすも知ることができました。ただこれら墓苑に興味のある方は、その経営母体は安心できる企業か、多角経営で破綻しないか、極端に安すぎないか、極端に大丈夫なのか等、確かめる必要もあるかと思われました。▼といいますが、都会では民間企業が墓地運営に入り込み、多角経営の末に資金巡りが悪化して破綻するケースも多々あるそうです。熊本は地価や物価も大都市ほど高騰されていないので、過度な心配は不要かもしれませんが、墓地運営は基本的に地方自治体と公益法人・宗教法人しか運営はできません。にもかかわらず民間企業が入り込み、名義貸しで公益法人・宗教法人を通して認可をもらい運営しているようです。地方自治体であっても夕張市のようにリゾート開発など多角経営で破綻してしまうケースもありますから、慎重に見るべきものがあるように感じました。

浄土真宗のみ教え

南無阿彌陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の
弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といただいて

この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土

仏恩報謝の お念仏

み教えを依りどころに生きる者 となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々 精一杯つとめます

来る2023(令和5)年には親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要をお迎えいたします。聖人が御誕生され、浄土真宗のみ教えを私たちに説き示してくださいましたことに感謝して、この「浄土真宗のみ教え」を共に唱和し、共につとめ、み教えが広く伝わるようお念仏申す人生を歩ませていただきますように。

(春の法要 ご門主さまご親教より)

花まつり 春の子ども会

毎年4月に行っている春の子ども会を今年4月5日に開催致しました。小学生は6名、中高生が11名の参加となりました。

午前中は、お寺でお釈迦さまの誕生をお祝いする「花まつり」の法要をしました。その後、江津湖に遠足というかたちで遊びに行き、各自持ってきたお弁当で江津湖の綺麗な景色を楽しみながらみんなで楽しく食べました。

お昼を食べた後は、みんなで仲良くボール遊びや、バドミントンをしたり、川に入ったたりして楽しみました。



被災地へ、お仏壇をお届けしました

昨年の球磨川における豪雨水害により被災されました方に、中古のお仏壇をお届けいたしました。

このお仏壇は、覚法寺の門徒総代で「お仏壇の合掌」の陣内さんより、ご不用品として預かったものですが、状態は美しく良好なお仏壇でした！

坂本町は豪雨により甚大な被害にあり、住む場所を失った方々は現在、八代の仮設団地にて生活をされております。

お仏壇を受け取られた方は、川の氾濫で家財も流失しお仏壇も無くなりました。ご家族の一周忌前にお仏壇をお迎えできておりました。写真はちよろど現地の方と、お仏壇を仮設住宅へ運んでいるところです。



寺族婦人会

熊本教区寺族婦人会連盟
基礎講座に参加して

新型コロナウイルス感染拡大の中、すべての行事が中止・延期となりました。

当たり前になってきた事ができなくなり「何もしないで終わるより何かをやって次につないでいきたい」という思いから熊本教区寺族婦人会連盟主催で寺族婦人基礎講座をインターネットにて『動画配信』しました。

初めての試みで始まる2分前にアクシデントがありました。何とか最後までやり遂げることができました。コロナ禍の中、なかなか一歩を踏み出すのは難しいですが、次につなげていくには踏み出さないと何も始まらないという事を身をもつて体験させていただきました。



覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより

私達の主な活動・・・(春より初夏へ)・・・



昨年の今頃は、新型コロナウイルスが日本全国に拡大し連日のようにテレビで報道されておりました。色々な行事が中止となり、ステイホーム、ホームワーク等を行い、出来るだけ不要不急の外出を控えてきました。1年経った現在は、ようやくワクチンが開発され予防接種が徐々に浸透しつつあります。



当寺では、春の子ども会(4月)のお手伝いは中止、宗祖親鸞聖人降誕会法要(5月16日)は6月13日に延期しましたが、まん延防止措置が発令され(5月16日~6月13日迄)中止となりました。蓮華の会(16日)も久しぶりに再開し、葦原理江師(降誕会のご講師)にご協力いただき節談説教を収録したものを鑑賞しました。ご門徒の皆様と久しぶりに再会し、何気ない会話をするのがとても有り難いと思ったことであります。



花嫁さんの角隠し

和式の婚礼衣装の場合、花嫁さんは「角隠し」と呼ばれる頭飾りをかぶります。

今は花嫁さんがかぶる角隠しは、昔、浄土真宗の女性のご門徒が、お寺にお参りする時にかぶった物です。人間誰でも心の中に邪見(じゃけん)というツノを持っています。邪見とは、よこしまな誤った考え方であり、我がという自己中心の物の見方です。

恐ろしいツノの生えた鬼(おに)であると感じかせてもらうことが、仏様の教えに出遇うということ。だから角隠しは、「ツノのある、あさましくお恥ずかしい私であります」という表明になるわけです。

仏事の小箱から、抜粋

菅 純和

(光寺)



